

<http://www.creo.co.jp>

ホームページ上でもIR情報を公開しています。

『クレオ ニュース配信サービスのご案内』

当社では、投資家の皆様に向けてより迅速に情報をお送りするため、メール配信サービスを行っています。

メール配信サービスでは、IRニュースを中心としたクレオのニュースをいち早くe-mailでお届けします。

メール配信ご希望の方は、クレオのホームページよりご登録ください。



株主通信

第36期報告書

2008年4月1日 ▶▶ 2009年3月31日

株主の皆様へ

株主の皆様には、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。平素は当社の事業経営に格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。2009年3月期の株主通信をお届けするにあたり、一言ご挨拶申し上げます。

当社の属する情報サービス産業においては、世界的な景気後退の影響を受け、設備投資抑制によるIT投資の大幅な規模縮小や先送りが発生しており、引き続き厳しい環境が続いております。

このような状況下においてクレオグループは、集中的なプロモーション活動による受注獲得や既存顧客への業務拡大、徹底した品質管理による不採算プロジェクトの抑制、インテックグループとの協業による事業規模拡大、生産効率の向上によるコスト低減等に努め収益力向上を図って参りましたが、リーマンショック以降受注環境が急激に悪化したことにより第4半期の受託系事業の売上が伸び悩んだことなどが影響し、売上高121億19百万円(前期比6.0%減)、営業損失1億5百万円(前期は営業利益49百万円)、経常損失77百万円(前期は

経常利益42百万円)となりました。また、今後の不透明な景況感や市場環境を考慮し、ソフトウェア、有価証券およびのれんについて厳密な評価を徹底し、ソフトウェア臨時償却1億28百万円、減損損失1億25百万円、投資有価証券評価損58百万円を特別損失で計上したことにより、当期純損失は5億4百万円(前期は当期純損失1億31百万円)となりました。

業績の改善に向けグループ一丸となって努力を重ねて参りましたが、このような厳しい決算となったことを株主の皆様には深くお詫び申し上げます。

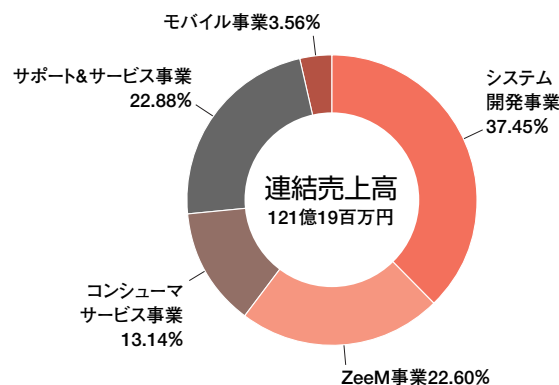
2009年度は未曾有の経済危機の真っ只中となり、かつてない厳しい受注環境の年になると予想されますが、ZeeM償却の大幅減少、PMO定着による赤字プロジェクト減少等の好材料を基に、停滞することなく体質改善を推進し、長期低落傾向から脱出した成果としての黒字化達成を目指し邁進して参ります。

この逆境に打ち克つべく将来を見据えた施策を実行して参りますので、株主の皆様には引き続きご支援を賜りますよう、よろしく願い申し上げます。

2009年6月

代表取締役社長
土屋 淳一





ZeeM事業

プロモーションおよび営業活動の強化により
売上が増加

ZeeM事業においては、上期に強化したプロモーションによる商談数の増加と、新製品の低価格簡易導入モデルなどが好調に推移したことにより売上が増加しましたが、価格競争による値下げやプロモーションコスト等により減益となりました。その結果、売上高は27億39百万円（前期比10.2%増）、営業損失は3億69百万円（前期は営業損失2億72百万円）となりました。

コンシューマサービス事業

新製品投入や経費節減等により
収益を維持

コンシューマサービス事業においては、主力製品である「筆まめ」が販売シェアを拡大し、周辺製品やネットサービス「筆まめonline」が順調にユーザ数を増加させるなど健闘したものの、パッケージ市場全体の縮小傾向により売上が減少しました。利益については、経費削減に努め微増となりました。その結果、売上高は15億93百万円（前期比1.5%減）、営業利益は2億30百万円（前期比1.0%増）となりました。

システム開発事業

IT投資抑制や顧客内製化により
受注環境が悪化

システム開発事業においては、既存顧客からの安定した受注獲得と受注管理のさらなる強化、公共・福祉介護システムといった得意分野の規模拡大に努め、第3四半期までは堅調に推移したものの、IT投資の抑制による急激な受注環境悪化により売上利益ともに前期に比べ減少しております。その結果、売上高は45億38百万円（前期比11.9%減）、営業利益は7億48百万円（前期比10.2%減）となりました。

サポート&サービス事業

顧客内製化により
経費節減を推進

サポート&サービス事業においては、新規顧客開拓を図ったものの、市況悪化に伴うお客様の業務内製化により売上が前期に比べ減少したことにより減収減益となりました。その結果、売上高は27億73百万円（前期比4.5%減）、営業利益は1億69百万円（前期比12.3%減）となりました。

モバイル事業

IT投資抑制や顧客内製化により
受注環境が悪化

モバイル事業においては、モバイルマーケティングサービス「クロスモビ」の拡販およびFlashをベースとした開発案件の受注拡大に努めたものの、受注環境の悪化等による売上の低迷と一部納期遅延により売上利益ともに減少しております。その結果、売上高は4億32百万円（前期比25.0%減）、営業損失は79百万円（前期は営業損失28百万円）となりました。

筆まめonlineのユーザ数急増

筆まめonlineは年賀状サイトとしてオープンし、2008年2月にフリーの素材検索サイトへリニューアルいたしました。好評だった「年賀状コンテスト」など新たな試みにより、ユーザ数が急増（前年の3倍）。今後もユーザの皆様にご満足頂ける機能の充実を図って参ります。

ZeeM拡販に向けた子会社の設立

2009年4月、ZeeM事業の顧客深耕を図るため、株式会社クレオスマイルを設立いたしました。新会社では、より高品質な製品やサービスを提供するため、従来の枠を越えた新規商材の発掘に積極的に取り組んで参ります。

株主メモ

決算期	3月31日
利益配当金受領 株主確定日	3月31日 中間配当金（毎年9月末日） <small>※なお中間配当を実施するときの株主確定日は9月30日</small>
定時株主総会	6月
基準日(定時株主総会関係)	3月31日
株主名簿管理人 事務取扱場所	三菱UFJ信託銀行株式会社 東京都千代田区丸の内1丁目4番5号
連絡先	〒137-8081 東京都江東区東砂7-10-11 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 TEL.0120-232-711
事務取扱所	三菱UFJ信託銀行株式会社 全国各支店
公告掲載	当社ホームページ http://www.creo.co.jp

株式会社クレオ

〒108-0074 東京都港区高輪3丁目19番22号
TEL.03-3445-3500（大代表）
FAX.03-3445-3505